

ないと答弁したと思う。

**Q**：電子カルテの他の病院との互換性はどうか。

**A**：メーカーが今後つくるものは国際基準に基づいたデータの抽出が可能となる。町が導入するものはそれに準じたものになる。魚沼基幹病院ができる7年後は、更新の時期になることから互換性は保てると思う。

**Q**：病院の電子カルテ導入の町民への周知方法。

**A**：電子カルテのメリットは、院内のペーパーレス化、カルテがどこでも見られる、チーム医療の向上、看護師の業務量減少、若い医師を集めやすい、証明書等発行の迅速化等

**Q**：メタボ検診の受診率の想定とペナルティの内容。

**A**：国保の受診率61%、5年後55%で見ている。ペナルティは5年間はない。5年後の見直し後にはペナルティとして交付金が減額される。

**Q**：妊婦検診の内容。

**A**：妊婦検診は18回、うち町は5回と歯科検診を助成している。

**Q**：小出養護学校への通学者は何人か。

**A**：小出養護学校通学スクールバスは石打までしか来ない。これは子供たちの家族会で運営し、南魚沼市と湯沢町が助成するという内容。今湯沢で利用したい子供は1名。金を出せば湯沢まで来ることになるかについては、まだ発足したばかりで不明。

**Q**：小出養護学校通学スクールバス50万円の算出根拠は。湯沢から行っている人が10人くらいいる。全員バスに乗ればいくら位かかるのか。今後の方向性、また、広く周知してもらいたい。

**A**：1月24日に市と保護者会の懇談会があり、運行費220万円のうち湯沢から通っている人が4名で負担割合1/5、(算式)11万円×4名 50万円計上。2月27日保護者に説明した結果、利用者は1名であった。今後、教育委員会・健康福祉課・保護者会と積極的に取り組んでいく。特別学級に入っている子供たちの親

にも集まりがあることから周知していく。

### 健康福祉課 介護保険特別会計

**Q**：第3期は平成20年度までであるが財政運営の見通しは。

**A**：苗場福祉会の2施設合計で6千万円を見込んでいる。病院の介護療養型病床が増床されれば4千万円相当の介護給付費が増額となる見込みである。

### 教育課 一般会計

**Q**：教員のパソコンを設置するというのが、現在は自分のパソコンを持ち込んでいると思うがセキュリティ等の扱いはどうなる。生徒のパソコンも古くなってきたが更新をどう考えるか。

**A**：町のパソコンにはセキュリティをしつかりかけていく。個人のパソコンは使用しないように指導する。

**Q**：教育委員会へつなぐことによつてどのような利用ができるのか。

**A**：インターネット接続契

約を1箇所までできる。有害サイトに対する規制も1箇所のサーバーの中で対応できる。生徒用・教師用・財務会計用のパソコンを別々の配線サーバーで管理する。

**Q**：神立小学校の介助員賃金の理由と湯沢小学校に行かない理由。

**A**：新入生の中には就学指導委員会から問題ありとされた児童もあり、保護者が1〜2年様子を見たことことから、湯沢小学校の特別支援学級ではなく神立小学校に入れた行動に危険性を伴うことから介助員を付ける。

**Q**：国体の3千500万円の交付金は概算額か。また、国体局から2〜3名の応援が来るということであつたがどうか。

**A**：交付金対象経費を約5千250万円としてその2/3の3千500万円を計上した。秋口の頃から一緒に業務をしないとだめと伝えてある。

**Q**：中学校建設基本構想の考え方。

**A**：建設検討委員会・教育委員会を経て順調に行け

ばということでは計上した。給食費の未納が社会問題となつているが湯沢町ではどうか。校長にだけ任すのではなく教育委員会も進んで対応するべき。

**A**：4名の未納があつたが減っている。金があつても支払わない人がいる。教育委員会も対応する。

**Q**：童画の利用方法を豊口先生に相談して決めるとのことであるが、どうなつているのか。

**A**：童画の有効活用について、豊口先生と童画展の時相談したら大学に寄つてくれとのことであつた。その時の話となる。本年は川上家に行つて話を進める。

**Q**：簡素な国体経費はどの程度か。

**A**：人件費を除き1億9千万円位と考えている。

### 町民課 一般会計

**Q**：パスポートの発行状況は。

**A**：19年4月より町で発行している。本年度は187件、マグナの関係もあると思う。

**Q**：斎場の事業と負担割合。